

有路 昌彦 (ありじまさひこ)

アミタ持続可能経済研究所 主席研究員

京都大学大学院博士課程修了後、大手銀行系シンクタンクを経て現職。京都大学博士(農学：生物資源経済学)。専門は食料経済、環境経済、食品リスクの経済分析。OECD水産委員会代表団員等、各種国際会議委員を歴任。近畿大学客員准教授、京都大学大学院地球環境学舎特任講師、京都大学フィールド研究センター非常勤講師なども兼務。FAO等の食糧需給長期予測などの研究事業から、食品安全に係る政府事業を多く手がける。米国産牛肉の輸入停止による経済影響(2730億円の損失)の試算などのプレスリリース報告、論文、連載、著書多数。各種学会賞受賞。近著に「環境経済と食糧経済に関して一般的に解説した思いやりはお金に換算できる!？」(講談社+a新書、6月19日発売)がある。